

## 令和2年度 第2回田原市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年3月18日(木) 午後1時30分～午後2時20分
- 2 場 所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室
- 3 内 容  
議事事項 (1) 田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画の改定について  
その他
- 4 出席者  
市 長 山下 政良  
教育委員会 教育長 鈴木 欽也  
教育委員会 教育長職務代理 天野 千栄子  
教育委員会 委員 金田 真也  
教育委員会 委員 太田 孝雄  
教育委員会 委員 高崎 佐智江
- 5 会議構成員以外の出席者及び事務局  
企画部長 石川 恵史  
教育部長 増山 禎之  
企画部次長 内田 久  
企画部企画課長 大羽 浩和  
教育部教育総務課長 伊藤 英洋  
教育部学校教育課長 渡邊 宏光  
教育部生涯学習課長 山田 正勝  
教育部教育総務課課長補佐兼係長 中村 隆憲  
企画部企画課課長補佐兼係長 佐々木 豊  
教育部教育総務課主査 彦坂 幸子
- 6 傍聴人  
なし
- 7 協議の経過  
(企画部長)

時間となりましたので、ただ今から令和2年度第2回田原市総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、始めに、山下市長からあいさつを申し上げます。

(市長)

陽気がよくなってきたが、マスクのおかげで花粉症をあまり感じません。新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきた感があります。東三河でも感染者は出ておらず、厳重警戒も解かれることとなります。感染防止対策を徹底したうえで泉中学校閉校式などの式典も実施しています。ただ、いまだ大人数での宴会は実施できていません。これが飲食店にとって大きな痛手となっている。新型コロナウイルス感染症のワクチンは4月26日の週に1,000回分しか届きませんので接種について検討しているところです。新型コロナウイルス感染症により、世の中が変わってきましたが、教育行政は粛々と進めなければなりません。主役は子どもですのでしっかりとやっていきたいと思っております。皆様方のご意見をしっかりと伺いたいと思っておりますので、

よろしくお願ひいたします。

(企画部長)

ありがとうございました。

それでは、議事についての進行は、本会議の議長であります市長にお願いいたします。

市長、よろしくお願ひします。

(市長)

それでは、議事事項に入ります。(1) 田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画の改定について、事務局から説明をお願いします。

(教育総務課長から (1) について説明)

(市長)

ただいま、田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画の改定について、事務局から説明がありました。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(金田委員)

様々な部署や地域と連携して「ふるさと学習」に取り組んでいる姿を見て、素晴らしいと感じました。課題や反省点を踏まえながら今後役に立ててほしいと感じました。

(教育総務課長)

今回、「ふるさと教育」と「ふるさと学習」という柱を加えさせていただきました。それぞれの地域によって学ぶことは異なると思いますが、田原市全体で子どもたちの宝として伝えていけるような取り組みを続けていきたいと思ひます。

(太田委員)

令和2年度で全計画が満了したところだが、今まで取り組んできたことに対する成果と課題について表現した方がよいのではないかと思ひます。また、目指す人づくりの中で、「たくましく生きる人」について具体的に取り組むことが難しい時代となっています。田原市全体としてどのような形で子どもたちを育てていくのかを考えていく必要があると思ひます。

「社会との絆を深め」についても、文化協会などの構成員も高齢化などにより絆が薄らいでいる気がします。地域社会の絆が弱くなっているように感じます。それぞれの団体の努力も必要ですが、市としても社会の絆を深めるための取組をしていただければいいかと思ひます。

(教育総務課長)

今回の大綱は大きな内容となっており、それぞれの取組については、各個別計画において目標の達成状況を客観的に評価し、教育委員会等でも報告させていただきます。

「たくましく生きる人」については、学校教育振興計画の重点施策において食育・健康教育、学校体育、防災教育等を推進していく中で目標値を定め評価し、未来を担う子どもたちを育てていく取組をしていきます。

(天野委員)

泉中学校閉校式ではいろんな年代の地域の方が集まっており、母校がなくなる寂しさもあったが、思い出を持ち寄って集まっていただき、学校は特別な場所だと思ひました。学校・家庭・地域のつながりが田原市の宝である児童・生徒を将来の担い手として育てていただけると思ひます。田原市総合教育大綱の改定に関わらせていただいたことに感謝したいと思ひます。

(市長)

他にご意見はございますか。

(金田委員)

伊良湖岬小学校のプールが集約化され、その先どうなっていくのか決まっている学校があれば教えていただきたい。また、民間プールなどの活用について、市民プールについてどうなっているのか教えていただきたい。

(教育総務課長)

学校再編については、泉中学校で一段落とし、中学校4校・小学校18校で動いていきます。今後は、学校未来創造計画に則って施設の更新か統廃合やむなしかを協議していきます。学校プールにつきましては、今年度に学校プールの集約化に向け、民間プール等を使った授業の実証実施により検証を行う予定でした。これができませんでしたので、令和3年度にはこれを改めて行っていきたくと思っています。この検証結果等を踏まえ、可能であれば民間プールとは別の市民プールができれば、学校プールを集約化して子どもたちを移動させて授業を受ける方向で検討していきたい。

(市長)

まだ作ると決まっているわけではなく検討しているということです。学校プールを最終的にはやめるという話で進めていて、まずは民間プールをどのように使っていくか、市民プールが必要ではないかという話に持っていきたい。そこに行けば、インストラクターがいて先生も子どもたちもお互いにプラスになるのではないかという考え方です。お金がかかることだが、学校プールをすべて維持することはできない。学校プールは使う期間が短いため、室内プールであれば365日交代で使うことができるため、検討に入ったところです。

(教育部長)

今年度、PFI事業の委託事業を行い、調査結果が出ました。それに基づいて今後検討していきますが、伊良湖岬小学校のプールがないということが心配されると思いますが、早い段階で方向を詰めたいと考えています。

(市長)

これからはそういう形になっていきますのでしばらくは辛抱していただきたい。近くの学校や民間プールを使っていただき、どういう方向がいいかを今から検討していきます。

(教育部長)

伊良湖地域の皆さんが心配しないようなタイミングを図ってきたいと思っています。

(高崎委員)

豊橋市では、八町小学校で英語だけの授業、前芝では小中一貫校があると聞いています。全国的にはいい事例が多いと聞いていますが、田原市ではいかがお考えでしょうか。

(教育長)

設置条件では、1小学校1中学校のような状況の方が取組しやすいが、今のところ市内では設置していこうというところには至っておりません。子どもたちにとってどういった教育環境を整えるのが、よい教育を進めることができるのか常に考えていかなければなりません。22校の学校配置で、まずベストの教育を進めていこうと考えています。

(市長)

他にご意見・ご質問など無いようですので、今回協議していただいた田原市総合教育大綱・田原市教育振興基本計画（最終案）について、ご承認いただけますでしょうか。

(委員全員)

異議なし

(市長)

ありがとうございました。それでは、大綱については、最終案にて策定してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

「その他」で、他に何かございますか。

(事務局から各部署の取組状況について説明)

(市長)

他に何か委員の皆さんからございますか。よろしいですか。

それでは、ご協力ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第2回田原市総合教育会議を閉会させていただきます。

今日は本当にありがとうございました。

(閉会 午後2時20分)